

## 会長選挙について

根研究会の2000-2001年度の会長選挙につきまして、「根の研究」第8巻第2号で公示しましたところ、1999年8月31日までに下記の会員1名から事務局に立候補の届け出がありました。選挙要領第6項により、立候補者が1名だけでしたので、下記の会員が会長に当選しましたことをお知らせ申し上げます。

根研究会事務局

山内 章（やまうち あきら） 1956年8月12日生

この4月より、大学の改組に伴い循環資源学講座に所属していますが、作物学をベースに研究を進めています。作物個体を基軸としてその成長において根系が果たす役割を明らかにすることが当面の目標です。その中でもとくに、水ストレスを始めとする、環境ストレス条件下での作物の生長と、それを支える根系機能について関心があります。また、生態系の物質循環における根の役割を解明していく方向も発展させていきたいと思っています。

これまでの2年間、根研究会の会長を務めさせていただきました。この間、なんとか研究会の活動を進めていくことができたのも、大門副会長、矢野事務局長、評議員、そして多くの会員の皆様方のご支援と、会の活動への積極的な参加のおかげであります。たいへんありがとうございました。私としては、森田前会長を中心とした前執行部が築きあげられた遺産を引き継ぐのに右往左往してしまって、時間が過ぎていってしまったような気がしています。そこで、もう少しリーダーシップを発揮しつつ、会の新しい発展方向を模索できればと思い、再び会長に立候補させていただきました。

具体的な抱負といたしましては、とにかく2001年に予定されていますISRRシンポジウムに向けて、研究会が全力を挙げてシンポジウム組織委員会とともに準備を進めていきたいと思っています。2001年に研究会は10歳になります。これまでも何回か申し上げましたが、基本方針は、シンポジウムを開催することだけに忙殺されて疲れてしまうのではなく、私たちにとって有意義であり、楽しめるものにする、そして、研究会を中心とした、日本における根関連の研究成果の発表の場としても有効に活用する、この2点だと思っています。

また、昨今、大学や研究所を取り巻く環境にはとくに厳しいものがあり、既存の制度や組織を超えて、自由で、学際的に情報や意見の交流が可能な研究会の存在は、今後ますます貴重で重要なものになってくると確信しています。会誌、研究集会、メーリングリスト等を通じた交流、自主的で実質的な研究チームの構築、などの活動のために、所属組織・学会、肩書き、経験、など様々な点で異なる会員の皆さんが集まれる「場」を提供する、研究会の大切な役割はそこにあると認識しています。

連絡先：464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院生命農学研究科  
Tel 052-789-4022 Fax 052-789-5558 E-mail ayama@agr.nagoya-u.ac.jp

## 1999年度根研究会賞

本年度の根研究会賞として、以下のように功労賞2件、奨励賞2件、特別賞1件が決まりましたのでご報告申し上げます。それぞれの業績について推薦書類に基づいて評議員を中心に2名づつの方々に審査をお願いし、その結果をもとに会長、副会長、事務局長が協議し最終的な判断をさせていただきました。受賞者の方々におかれましては誠にありがとうございました。またご推薦いただきました方々、審査を行っていただきました方々に厚くお礼申し上げます。今後ともこの研究会賞を大切に育てていっていただきたく存じます。

なお、第12回根研究集会（11月6日、滋賀県立大学環境科学部）におきまして、授賞式をおこ